

第38期 報 告 書

2013.4.1 ▶ 2014.3.31



テクノーツ株式会社

証券コード 5217

株主の皆様へ／事業の概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第38期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の営業の概況などにつきましてご報告申し上げます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長

外丸 勝彦



取締役社長

根生 辰男

●事業の経過及び成果

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に円安株高が進行し、景気は緩やかに持ち直しの傾向にあります。一方で、新興国経済の減速懸念や原材料価格の上昇などの影響から景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する半導体業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大を受けて、台湾のファウンドリでは高水準の設備投資が行われ、中国、韓国でも同様に大規模な投資が実施されております。

このような環境の中、当社グループの半導体製造プロセスの前工程で使われる消耗品（石英・シリコン製品）につきましては、国内市場は事業再編の途上にあつて、受注・売上高ともに一年を通じ総じて低迷した状況が続きました。

一方、海外市場では、アジア地域を中心に大型投資が継続したことから、受注は第2四半期（7月～9月）から第3四半期（10月～12月）にかけて急速に回復しました。また、売上高は受注から売上に至るリードタイムなどから、第2四半期では緩やかな増加に止まりましたが、その後は増産体制も整ったことから、第3四半期から期末にかけて大幅に増加

業績ハイライト（個別）

| | 第34期 | 第35期 | 第36期 | 第37期 | 第38期 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 平成22年3月 | 平成23年3月 | 平成24年3月 | 平成25年3月 | 平成26年3月 |
| 売上高 (千万円) | 385 | 472 | 466 | 458 | 603 |
| 営業利益 (千万円) | 7 | 21 | 32 | 37 | 69 |
| 経常利益 (千万円) | 7 | 17 | 31 | 43 | 79 |
| 当期純利益 (千万円) | 5 | 15 | 32 | 24 | 45 |
| 純資産 (千万円) | 498 | 513 | 541 | 561 | 601 |
| 総資産 (千万円) | 766 | 790 | 799 | 778 | 890 |
| 設備投資 (千万円) | 9 | 20 | 23 | 14 | 20 |
| 減価償却 (千万円) | 19 | 20 | 19 | 18 | 18 |

しました。

損益面につきましては、売上高の増加による増益効果により、経費の増加を吸収し、前連結会計年度比で増益となりました。

以上の結果、売上高は6,114百万円（前連結会計年度比32.8%増）、営業利益は766百万円（同57.2%増）、経常利益は742百万円（同45.3%増）、当期純利益は438百万円（同59.1%増）となりました。

●対処すべき課題

半導体関連業界は、世界的規模ではこれまで成長を牽引してきたパソコン、携帯、TVなど民生機器が減速を示し、一方でスマートフォン、タブレット端末など高機能アプリケーションの展開により市場全体が牽引され、今後も穏やかに成長を維持すると期待されます。

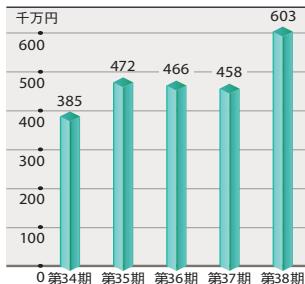
ただし、国内半導体メーカーの競争力低下による半導体工場の閉鎖、売却が相次ぎ国内市場が縮小する一方、海外大手半導体メーカーは微細化、大型化を含めた設備投資計画を相次いで発表しています。このような急激な半導体市場の構造的な変化の中、当社グループの成長戦略を下記に示します。

- ・国際化促進と市場ボーダーレス化への対応の為、中国を含むアジアへの展開を強化するとともに2012年5月に設

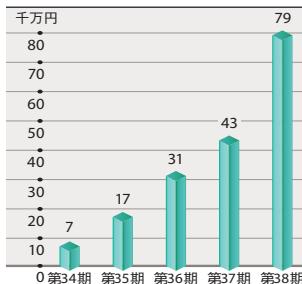
立した米国現地法人の本格稼働等、グローバルな営業展開を図り、更なる事業拡大を図ります。

- ・新設した製品開発部を中心として既存分野のシェアアップにとどまらず、技術革新により新規分野（ソーラーパネル、パワー半導体等）への参入を図り、安定的経営を目指します。
- ・超精密加工技術（メディカル等）、拡散接合技術等の技術を高度化し、当社独自のコアコンピタンスを創出することで技術革新を図り、他社との差別化を図ります。
- ・リードタイムの短縮、品質の向上、コストダウン等の徹底したゼロベースでの生産革新により、製造原価の低減に努めます。
- ・重要顧客とのパートナーシップ強化及び顧客サービスの質的向上を図る為アンテナ感度を高めたマーケティング力、分析能力等を育成し、顧客拡大に努めます。
- ・中国子会社及び国内工場の生産設備の見直しにより生産能力の向上を図ります。これにより全体の生産能力向上はもとより、東日本大震災の様な災害時における緊急の生産相互補完能力を強化します。

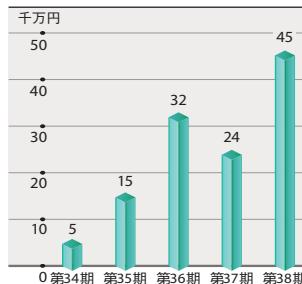
■売上高



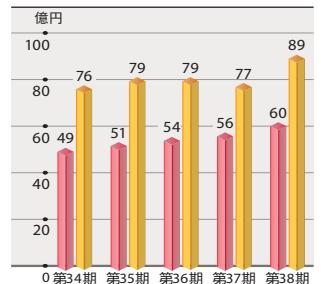
■経常利益



■当期純利益



■純資産／総資産



●次期の見通し

次期の見通しにつきましては、新興国経済の動向や円安に伴う原材料価格の上昇、さらには4月の消費税率の引き上げ等による影響が懸念されており、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。ただし夏以降は、消費税率引き上げの反動減の影響が次第に弱まっていくことで個人消費が増加に転じることから景気は回復基調に戻ることが予想されます。

半導体業界におきましては、引き続きスマートフォン、タブレット端末市場が設備投資の需要を牽引するものと考えております。しかし、需要の牽引役は高級機種の一巡感から、廉価品へとシフトすることが予想され、従来にも増して短納期化や低価格化の顧客要求が高まることを見込まれるなど、業界全体としては厳しい経営環境が続くものと思われまます。

当社グループの受注環境につきましても、第2四半期（7月～9月）から第3四半期（10月～12月）にかけて大幅に増加しましたが、第4四半期（1月～3月）では顧客の設備投資の一巡から減少しております。新年度（平成26年度）に入り4月以降も同様な動きが予想されることから上半期は売上高及び損益ともに厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当社グループは、既存顧客の深耕や、成長が見込まれるアジアや米国地域を中心に新規需要の掘り起こしに努めます。また、450mmウエハや微細化投資等の顧客ニーズに対応するとともに、引き続き原価低減を推進してまいります。

以上のことから、平成27年3月期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の通期連結業績につきましては、売上高5,200百万円（前連結会計年度比15.0%減）、営業利益219百万円（同71.3%減）、経常利益207百万円（同72.0%減）、当期純利益115百万円（同73.7%減）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月期の連結業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|------------|
| 通期 (平成26年4月～平成27年3月) | 5,200百万円 | 219百万円 | 207百万円 | 115百万円 | 14円87銭 |

平成27年3月期の個別業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|------------|
| 通期 (平成26年4月～平成27年3月) | 5,200百万円 | 203百万円 | 223百万円 | 138百万円 | 17円92銭 |

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

連結財務諸表

Consolidated Financial Highlights

●連結貸借対照表

単位：千円

| 科目 | 前期(第37期) 平成25年3月31日現在 | 当期(第38期) 平成26年3月31日現在 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 4,257,311 | 5,664,486 |
| 固定資産 | 3,497,157 | 3,665,706 |
| 有形固定資産 | 3,229,826 | 3,384,630 |
| 無形固定資産 | 50,515 | 51,558 |
| 投資その他の資産 | 216,814 | 229,517 |
| 資産の部合計 | 7,754,468 | 9,330,193 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 1,424,884 | 2,089,894 |
| 固定負債 | 666,920 | 772,245 |
| 負債の部合計 | 2,091,804 | 2,862,140 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 5,639,645 | 6,023,524 |
| その他の包括利益累計額 | 23,017 | 444,528 |
| 純資産の部合計 | 5,662,663 | 6,468,053 |
| 負債及び純資産の部合計 | 7,754,468 | 9,330,193 |

●連結損益計算書

単位：千円

| 科目 | 前期(第37期) 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日 | 当期(第38期) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高 | 4,604,182 | 6,114,309 |
| 売上原価 | 2,996,452 | 3,921,933 |
| 売上総利益 | 1,607,730 | 2,192,375 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,120,344 | 1,426,073 |
| 営業利益 | 487,385 | 766,302 |
| 営業外収益 | 45,573 | 18,740 |
| 営業外費用 | 22,385 | 42,984 |
| 経常利益 | 510,573 | 742,058 |
| 特別利益 | 3,782 | — |
| 特別損失 | 176,018 | 5,421 |
| 税金等調整前当期純利益 | 338,337 | 736,637 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 71,210 | 330,975 |
| 法人税等調整額 | △8,145 | △32,398 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 275,273 | 438,060 |
| 当期純利益 | 275,273 | 438,060 |

●連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

| 科目 | 前期(第37期) 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日 | 当期(第38期) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,080,017 | 200,440 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △584,514 | △26,922 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △635,707 | 100,514 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 35,473 | 46,083 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △104,730 | 320,116 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,196,868 | 1,092,137 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,092,137 | 1,412,254 |

●連結株主資本等変動計算書 当期(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

単位：千円

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|------------------|--------------|-------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当 期 首 残 高 | 829,350 | 1,015,260 | 3,827,643 | △32,608 | 5,639,645 | 8,010 | 15,006 | 23,017 | 5,662,663 |
| 当 期 変 動 額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △54,181 | | △54,181 | | | | △54,181 |
| 当期純利益 | | | 438,060 | | 438,060 | | | | 438,060 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | 1,100 | 420,410 | 421,510 | 421,510 |
| 当 期 変 動 額 合 計 | — | — | 383,878 | — | 383,878 | 1,100 | 420,410 | 421,510 | 805,389 |
| 当 期 末 残 高 | 829,350 | 1,015,260 | 4,211,521 | △32,608 | 6,023,524 | 9,111 | 435,416 | 444,528 | 6,468,053 |

●会社概要

商号 テクノクオーツ株式会社
 証券コード 5217 (ジャスダックスタンダード上場)
 設立 昭和51年10月2日
 本社 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿五丁目1番14号
 資本金 829,350千円

●役員

| | | |
|-------|----|-----|
| 取締役会長 | 外丸 | 勝彦 |
| 取締役社長 | 根生 | 辰男 |
| 取締役 | 小野 | 文男 |
| 取締役 | 高橋 | 寛 |
| 取締役 | 小針 | 誠 |
| 常勤監査役 | 東條 | 弘明 |
| 監査役 | 佐藤 | 文一郎 |
| 監査役 | 櫛引 | 昭三 |

●主な事業

当社は、石英ガラスの加工技術を基に、半導体製造装置用の石英製品及びシリコン製品、並びに理化学機器の製造、販売を主力事業としております。

●主要製品

- ①半導体製造装置用製品
 反応管、キャリアポート、ベルジャー、石英リング、シリコン電極
- ②理化学機器用製品
 石英ガラスセル、G・Lクロマトグラフィー用製品、テドラバック

●主要な事業所

本社 東京都新宿区西新宿五丁目1番14号
 工場及び営業所等

| 名称 | 所在地 | 名称 | 所在地 |
|-------|---------|-------|--------|
| 蔵王工場 | 山形県山形市 | 東北営業所 | 山形県山形市 |
| 蔵王南工場 | 山形県山形市 | 北陸営業所 | 富山県富山市 |
| 東京営業所 | 東京都新宿区 | 九州営業所 | 熊本県熊本市 |
| 関西営業所 | 京都府京田辺市 | | |

●従業員の状況

| 区分 | 従業員数 名 | 前年比増減 名 | 平均年齢 歳 | 平均勤続年数 年 |
|--------|-----------|------------|-----------|-------------|
| 男性 | 145 | + 2 | 37.4 | 12.3 |
| 女性 | 21 | + 2 | 35.6 | 9.6 |
| 合計又は平均 | 166 | + 4 | 37.2 | 12.0 |

(注) 従業員数には、役員(8名)、及び臨時従業員(25名)は含んでおりません。

●重要な子会社の状況

| 会社名 | 資本金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|-------------------------|---------------------|----------|---------------------------|
| 杭州泰谷諾石英有限公司 | 千 US \$14,100 | % 100 | 半導体製造装置用石英製品・シリコン製品の加工製造 |
| GL TECHNO America, Inc. | 千 US \$100 | % 100 | 半導体製造装置用部品その他の製造販売及び輸出入業務 |

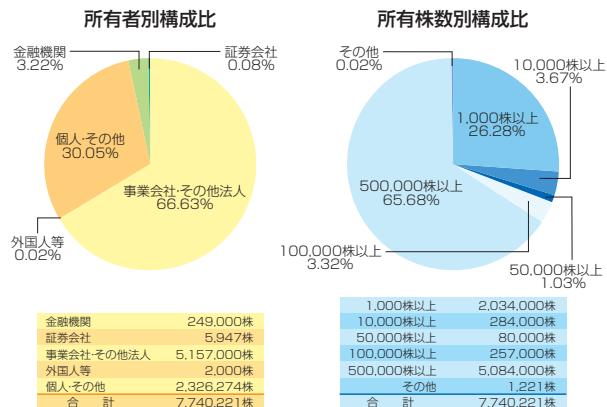
●株式の状況

| | |
|--------------------------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 31,200,000株 |
| 発行済株式の総数(自己株式除く) | 7,740,221株 |
| 株主数 | 1,766名 |
| 自己株式の取得、処分等及び保有 決算期における保有株式 | |
| 普通株式 | 59,779株 |
| 大株主(上位10名) | |

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---------------|-----------|---------|
| | 持株数(株) | 持株比率(%) |
| ジーエルサイエンス株式会社 | 5,084,000 | 65.68 |
| テクノクォーツ従業員持株会 | 157,000 | 2.03 |
| 株式会社山形銀行 | 100,000 | 1.29 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 80,000 | 1.03 |
| 株式会社山口銀行 | 40,000 | 0.52 |
| 株式会社テセック | 35,000 | 0.45 |
| 岡本克巳 | 28,000 | 0.36 |
| 大室 赳 | 26,000 | 0.34 |
| 田中 昭夫 | 20,000 | 0.26 |
| 森 禮子 | 20,000 | 0.26 |
| 佐々木 嘉樹 | 20,000 | 0.26 |

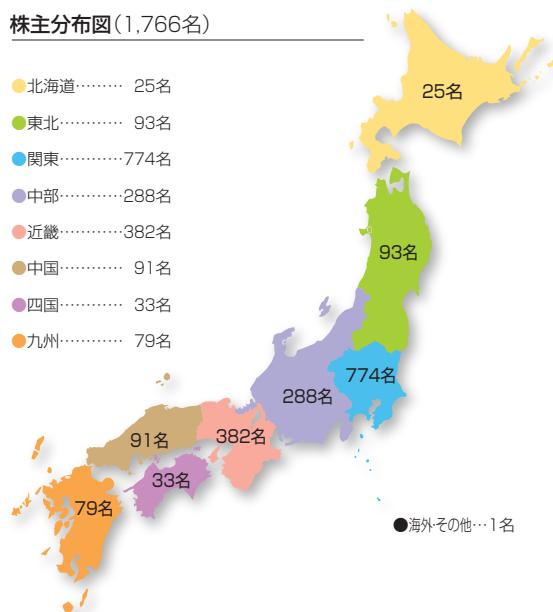
(注) 持株比率は、自己株式(59,779株)を控除して計算しております。

●株式分布状況(自己株式除く)



株主分布図(1,766名)

- 北海道…………… 25名
- 東北…………… 93名
- 関東…………… 774名
- 中部…………… 288名
- 近畿…………… 382名
- 中国…………… 91名
- 四国…………… 33名
- 九州…………… 79名



当社のホームページ



<http://www.techno-q.com>

株主優待制度



山形県産高級さくらんぼ1kg

お知らせ

1. 平成26年より「バック詰め方式」より「バラ詰め方式」に変更することといたしました。
2. 株主優待「さくらんぼ」発送につきましては、6月20日頃～7月10日頃にかけて順次発送の予定です。なお、多少の日程のずれはご了承ください。

株主メモ

| | |
|-------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 同総会議決権行使日 | 毎年3月31日 |
| 株主確定日 | |
| 期末配当金支払日 | 毎年3月31日（中間配当は行っておりません。） |
| 株主確定日 | |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | |
| 同連絡先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（フリーダイヤル） |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.techno-q.com (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。